

明治・東京のサクラ絵葉書

生田 誠 (東京) [構成：森下幹夫]

サクラの国・日本では、明治から昭和にかけて、日本各地でたくさんのサクラ(お花見)の絵葉書が作られました。その中でも、首都東京には著名な花見の名所が多く、「東京名勝」「東京百景」といったシリーズの中で、お花見の風景が取り上げられています。

今回それらの内、横浜の大手絵葉書メーカー「トンボ屋」の製品に限定し紹介いたします。

明治・東京のサクラ絵葉書～横浜・トンボ屋の製品から

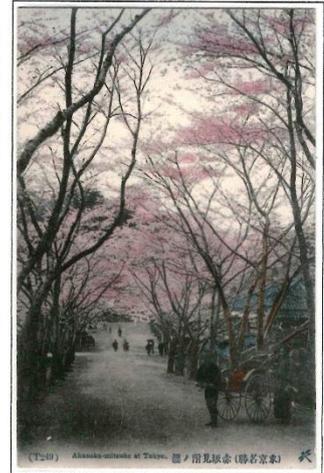
サクラの国・日本では、明治から昭和にかけて、日本各地でたくさんのサクラ(お花見)の絵葉書が作られました。その中でも、首都・東京には著名な花見の名所が多く、「東京名勝」「東京百景」といったシリーズの中で、上野や向島、九段(靖国神社)などのお花見の風景が取り上げられています。

この展示では、そうした絵葉書の中でも、明治後期の美しい手彩色の風景絵葉書、特に有名な大手絵葉書メーカーとして知られる「トンボ屋」の製品に限定して紹介いたします。トンボ屋は横浜に店を置き、主に外国人向けに高級な絵葉書を販売していました。そのため、国内よりも海外のマーケットで人気があり、多く流通しています。同社の製品は画面に「トンボ」のマークがあり、アルファベットの文字でこの風景がわかるようになっています。取り上げる絵葉書はいずれも「T」(東京)と「W」、あるいは「Tc(東京のサクラ)」が入ったもので、1909(明治42)年～1912(明治45)年に発行されたものです。

サクラの手彩色絵葉書は、木々の緑色と対照する桃色(ピンク)の色彩が華麗で美しく、人々が集う賑やかで魅惑的な風景ばかりです。

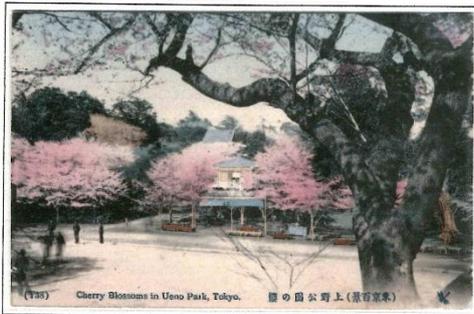
赤坂見附ノ桜

上野や飛鳥山などの山景、向島や江戸川などの河岸、靖国神社や浅草などの寺社の境内、そして赤坂などの街景など、東京の市街地の広がり、豊かさも感じられます。春の一日、約100年前のサクラ絵葉書をご覧になって、緩やかな時間をお過ごしください。



上野公園

東京百景・上野公園の桜(T38)



東京百景・上野公園音楽堂(T146)



浅草

東京百景・浅草観音(T153)



東京名勝・浅草公園の桜花(Tc316)

